

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	128	女性の悩みごと相談事業						
	この事務事業 の位置		政策		安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち						
			施策		文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう						
			基本事業		男女共同参画						
	主管課名		協働推進課		課長名	山田 浩昭					
	この事務事業の開始時期		平成15年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市男女共同参画推進計画								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	家庭や職場、地域などで女性が直面するさまざまな問題において、電話相談・面接相談を実施する。毎週月曜日。12:00~16:00 相談員は民間機関に依頼し、専門的知識を習得した人を選任した。 必要に応じて、DV被害者の保護などを、福祉事務所、県女性相談センター、警察等と連携を取りながら実施する。				みよし男女共同参画プランパートナー2019-2023の計画に基づき（「女性への暴力に対する対策」のため、相談窓口を設置）スタートした事業であり、DVのみならず、家庭内における女性の受ける問題解決のためにも、今後も事業を実施していく必要がある。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		専門的知識を習得した相談員を民間機関に依頼し、電話相談・面接相談を毎週月曜日（12:00~16:00）に実施した。 必要に応じて、対象者の保護などを福祉事務所や県女性相談センター、警察等と連携して実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	DVに関する重大事案が全国で発生している様子が報道等で伝えられる中で、行政、警察、地域等の関係機関のより緊密な連携の必要性が高まっている。			名称		単位					
				① 相談開催日数	日	②					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市内の女性				名称		単位					
				① 女性人口	人	②					
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
潜在的な悩みについて何の抵抗なく相談できる環境を作り出す また、女性の立場から相談に応じ、解決策の提案、支援を行う 悩みごとが気軽に相談でき、適切なアドバイスをする				名称		単位					
				① 相談件数	件	②					
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
男女共同参画社会の推進に向けた地域の機運を醸成する				名称		単位					
				① 男女共同参画交流ネット登録団体数	団体	②					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 日			42							
	②										
(2)の 対象指標	① 人			29,681							
	②										
(3)の 成果指標	① 件			92							
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 団体			4							
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	17
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	570	0	0	0	0			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
一般財源		千円	0	0	570	0	0	0			
人件費B	千円	0	0	2,263	0	0	0	0			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	318×2	0×0	0×0	0×0	0×0			
正職員以外の人件費	千円	0	0	126	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	248	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	0	0	3,081	0	0	0	0			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	0.1	0	0	0	0			
(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	128		女性の悩みごと相談事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	相談件数が年間100件近くあることや、市内に在住している女性からの様々な相談に対応しているため		
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市内に在住している女性を対象としており、適正であるため		
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	女性のあらゆる悩み事に対応しており、現状の事業が適正であるため		
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	DV被害や家庭に関する相談については、児童虐待に関わる内容が多く、子育て支援課と連携をとって対応する必要があり、関連事業に統合することで連携をとりやすくすることができる。			
		目的達成状況	内容	女性のあらゆる相談に対応しており、相談によって解決する事例も多くあることから目的は達成されている。			
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 相談内容が多岐に渡り、個人情報保護や公的機関との連絡調整及び迅速な対応が求められるため、市の直営が適正である。			
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	子育て支援課の母子・父子・寡婦相談と統合する。				
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	子育て支援課の母子・父子・寡婦相談と統合する。				
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市内に在住する女性に対する事業であり、事業の趣旨から受益者負担を求めないことが適正である。			
3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	DV被害者のシェルターへの保護措置などは、福祉事務所を経由した手続きが必要であるため、女性の悩みごと相談が直接的な救済に繋がらない場合がある。		対応策	DV被害者の様々な状況に早期対応できるよう虐待相談窓口と統合し、専門的な関わりと即時の情報共有を図っていく。	
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	子育て支援課の母子・父子・寡婦相談と統合した。		変更追加	事業の統合により、協働推進課から子育て支援課に担当課が変更となった。	
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 子育て支援課の母子・父子・寡婦相談と統合することで、DV被害や母子に関わる相談について、迅速な対応や情報の共有ができ、効率的な運営ができるようになる。 令和2年度から「こども相談・虐待防止事業（子育て支援課）」に統合。			
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			↑ 増加				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	129	男女共同参画啓発事業						
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	男女共同参画							
	主管課名		協働推進課		課長名	山田 浩昭					
	この事務事業の開始時期		平成6年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし男女共同参画推進計画								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	男女共同参画社会の実現に向け、みよし男女共同参画プランパートナーに基づく事業を推進し、男女共同参画社会に向けた啓発を行う。 男女共同参画社会の実現と住み良い地域づくりのために活動する団体を支援し、団体の育成と活性化を図る。				少子高齢化が進む社会、国内経済活動の成熟化等、社会情勢の急激な変化に対応していくうえで、男女が互いにその人権、個性を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別に関わりなく男女共同参画社会の実現が急務となっている。 本市においても、みよし男女共同参画プラン『パートナー』2019-2023に基づき、教育・福祉・保健など幅広い分野にわたり、新しい時代に対応した男女共同参画社会を築く必要がある。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、市民を対象に「市民のつどい」、男女共同参画川柳の募集を実施するとともに、団体を対象にセミナーを開催した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	2015年9月の国連サミットにおいて採択されたSDGsにおける17項目の目標の一つとして、ジェンダーの平等の達成が位置づけられた国際社会共通の目標となっている。			名称		単位					
				① 事業数		件					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民				名称		単位					
				① 人口		人					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
男女共同参画社会推進の必要性を理解する 性別役割分担意識を払拭する				名称		単位					
				① 男女共同参画セミナー参加者数		人					
				② 男女共同参画市民のつどい参加者数		人					
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
男女共同参画社会推進の必要性を理解する				名称		単位					
				① 男女共同参画交流ネット登録団体数		団体					
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 件			3	2	2	3	3			
	②										
(2)の 対象指標	① 人			61,040	61,570	62,100	62,360	62,620			
	②										
(3)の 成果指標	① 人			39	60	60	60	60			
	② 人			750	800	800	800	800			
(4)の結果の 成果指標	① 団体			4	6	6	6	6			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	17
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	2,072	774	774	3,482	4,482			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	22	42	42	42		
一般財源		千円	0	0	2,050	732	732	3,440	4,440		
人件費 B	千円	0	0	4,099.7	2,838	2,838	2,838	2,838			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	138×4	200×3	200×3	200×3	200×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	2,245	822	822	822	822			
その他の費用 C	千円	0	0	210	204	204	204	204			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	6,381.7	3,816	3,816	6,524	7,524			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	129		男女共同参画啓発事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	各事業ごとに対象者を決定し、年代や性別に応じた男女共同参画啓発事業を実施できているため		
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	男女や年齢に関わらず、市民全体に対して男女共同参画意識の啓発を行っているため		
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	社会情勢の変化により、女性の活躍推進が求められているため、男女共同参画啓発事業の中で女性の活躍推進に関する事業実施を検討する必要がある。		
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	事業実施時に男女共同参画プラン「パートナー」2019-2023のダイジェスト版を配布し、男女共同参画意識の啓発を推進する。			
		目的達成状況	内容	計画どおり達成した			
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 市民活動団体等のイベントなど、市主催以外のイベント時において男女共同参画に関する啓発を行ってもらう。			
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	企業への男女共同参画意識の啓発など、他のイベント時に男女共同参画啓発を実施することで、普段と違う対象者に対する効果的な啓発を行うことができるが、他事業の趣旨が薄れてしまう可能性がある。				
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	男女共同参画交流ネット登録団体に事業の協力を依頼することで人件費等の軽減することができるが、登録団体との調整や謝礼費等、別に事業費が発生する可能性がある。				
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市民に広く男女共同参画意識を啓発するために、受益者負担を求めないことが適正であるため			
3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	男女共同参画に対する住民意識がなかなか成熟していかない。		対応策	地域における男女共同参画の基盤づくりをするため、地域団体の活動支援並びに意識啓発を引き続き行う。	
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	男女共同参画川柳の募集を実施するとともに、男女共同参画セミナーを開催した。		変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様に実施	
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容			
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			ステップアップセミナー、男女共同参画啓発事業市民のつどい、男女共同参画川柳の募集、男女共同参画交流ネット登録制度を通じた啓発、系統的なプログラムを立案して、男女共同参画推進の人材を育てていく。				
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			→ 維持				